

令和元年12月4日
農業技術センター技術普及部

標 題	有機農産物の理解促進を目的に食育講座(第2、3回)を開催しました
------------	---

技術普及部では関係機関と連携し有機農産物の理解促進を目的に食育講座を開催しています。10月に実施した第1回に引き続き、今年度第2、3回目の講座を開催し、江津市立川波小学校5年生の児童6名が有機野菜の収穫と試食(給食)の体験を通し、環境にやさしい農業について楽しく学びました。

技術普及部では有機農産物等の栽培技術支援と並行して、消費者へ「環境と食べ物を考える」という食農教育の視点の一つを取り入れた食育活動を行っています。今年度第1回の講座(10月4日、普及情報No.85)に続き、第2回、第3回を江津市で開催しました。

11月21日の第2回講座では、香の宮F&A大畑安夫代表が実践されている有機農法について教わりながら、第1回に種まきをした小松菜の収穫と小松菜を使ったスムージーを試飲し、収穫作業では大畑代表から野菜にとっての益虫や害虫について説明いただきました。また実際に素手で収穫を行ったことで小松菜のみずみずしさを実感した児童からは、灌水の量について質問があり、播種時に2回と生育途中は1回のみ灌水で収穫に至ると説明を受けて、児童は驚いた様子でした。



【写真 収穫の様子】

11月22日の第3回講座では、児童が播種・収穫を行った小松菜を使用した給食を食べながら、大畑代表と第1回、第2回の講座を振り返りました。野菜が苦手な児童も小松菜の胡麻和えを完食し、児童から大畑代表へ感想や感謝の気持ちを書き留めた学級新聞が渡されました。新聞や話し合いの中では児童が土や野菜に直接触れながら夢中になって収穫を行っている様子や、「農業は大変だけど楽しかった」「スーパーでみつけた有機農産物のマークについてお母さんに説明して購入してもらった」といった感想がありました。



【写真 小松菜の胡麻和え】

全3回の講座を通して地元生産者との交流の場となり、環境への負荷をできるだけ低減した農業への理解が進み、有機農産物の消費を促す機会となりました。